

「ヤングメイツセミナー」 ～活動を支援するためのボランティア講座～

県立南薩少年自然の家

「ヤングメイツセミナー」とは

南薩少年自然の家では、主催事業等の運営補助を行う中・高校生、大学生のボランティアスタッフのことを「ヤングメイツ」と呼んでいます。体験活動のすばらしさやボランティア活動の重要性を理解させるだけでなく、ヤングメイツ自身の成長のために、「ヤングメイツセミナー」を実施しています。令和6年度は、5月18日に実施し、26名の登録がありました。

ヤングメイツセミナーにおける研修

講義「ボランティア活動」

この講義では、ヤングメイツの役割やボランティアスタッフとしての心構え、そして何よりも自分自身の成長へとつなげていくことの大切さについて学ぶ研修を行いました。

先輩ヤングメイツが講義の進行やレクリエーションの運営等を行うことで、実際にヤングメイツとして参加したときのイメージを参加者自身にもたせることができました。



【講義の様子】

体験活動1「園児と遊ぼう」

近隣の保育園に協力をいただき、所員と園児とのレクリエーション活動での関わり方を実際に見たり、一緒に遊んだりする中で、ボランティアスタッフとしての関わり方について研修しました。

初めてボランティアスタッフとして園児に関わった参加者も多く、「子どもとの触れ合い方を学ぶことができた」、「自分から話しかけることができ自信をもてた」、「コミュニケーションがうまくとれなかった」など、体験活動を通しての気づきや課題等を参加者同士で交流しました。



【園児との交流】



【体験後の意見交流】

体験活動2「昼食作り」

昼食時には、野外で作れる「ホットサンド作り」を行いました。活動を通して、参加者が安全に活動できる支援の在り方について学びました。また、これから活動していくヤングメイツ同士の交流を深める時間にもなりました。グループ内で役割分担や作り方の工夫などについて活発に話し合う姿が見られ、参加者自身が体験活動を通して、生まれる交流の楽しさを感じ取っていました。



【昼食作り】

体験談「ヤングメイツの活動を通して」

セミナーの最後では、これまで当所の活動にボランティアとして参加している先輩ヤングメイツから体験談を聞きました。同世代から語られる参加し始めたころの不安や経験を重ねることで得られた自分の成長、ボランティア活動の楽しさなどの体験談は、とても説得力があり、参加者の心に響いていました。



【体験談を聞く参加者】

【参加者の声】

- ・ リアルな本音の体験談を聞くことで、ヤングメイツの楽しさが伝わってきた。
- ・ 先輩ヤングメイツのように、たくさん経験をこれから積んでいきたいと思った。
- ・ 今回の事業に参加して、初めて会う人も多かったが、安心できる雰囲気になり、これから一緒に活動していくことが楽しみになった。